

議会・行政改革特別委員会記録

日 時 令和4年9月30日（金曜日）13時33分～15時06分

場 所 議員控室

出席者 金木委員長、逢坂副委員長、磯野委員、平山委員、阿部委員、工藤委員、船本委員、小寺委員、舟見委員、村田委員、森委員

事務局 豊島事務局長、嶋元係長

金木委員長

それでは、ただいまから議会・行政改革特別委員会を開催してまいります。

先般行われました町民に対するアンケート調査の結果などを含めまして、その結果などを報告をさせていただいて、それを基に今後定数についてどうしていくかというような内容で今後進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

それでは、先般、今年の夏頃から取り組んできました町民アンケートの調査について、実際議会事務局のほうにお願いしていたので、局長からその間のアンケート調査に関わる経過といいますか、経過及び結果についての報告を簡単にお願いたします。

局長、お願いします。

1 議員定数の在り方に係る町民意見聴取事業について

(1) 町民アンケート調査票の集計結果について

豊島事務局長 13:33～14:08

それでは、私のほうから、お手元の資料等も活用しながら、今委員長のほうからお話のありました経過も踏まえて集計結果についてご説明、ご報告をさせていただきたいと思っております。

まず、8月の頭から実際に動き始めようということで準備をしておりました改選後の議員定数の在り方に関して町民アンケートを実施するということで事業を実施してまいりました。こちらにつきましては、7月の28日に無作為に抽出した500名の町民の方に対しましてアンケートを郵送をしております。7月28日に今申し上げたとおりにアンケートを送付いたしまして、配達完了後から一応8月の15日を回収期限ということで、返送用の封筒を同封いたしましてアンケートのほうを回収するというような形で行っております。500通に対しまして、実際に回収できた通数であります。こちらにつきましては郵送等で返送があったものと、あと一部直接議会事務局のポストのほうに投函され

ているもの等もありまして、合わせまして187通の回収という形になっております。回収率については、小数点以下四捨五入をいたしまして37%というような形で回収をさせていただいているところであります。

あわせまして、お手元のほうにA3判でカラー刷りの全部で6枚物の資料が配付されているかと思えます。こちらのほうがアンケートの集計後の集計結果というものをまとめたものになってございます。まず、こちらの資料につきましては、アンケートを実施させていただいたときの設問と同じ内容で、どういう結果になったかということを集計しているものでございます。問1から始まりまして、最終的な自由表記のところまで、問6までをそれぞれ集計しているようなものになっています。

では、まず1枚目のほうから順次、概略になるとは思いますが、集計の結果をご説明させていただきたいと思えます。まず、問1ということで、あなたの性別を教えてくださいという設問に対しまして回答のあったものについてであります。男性が76、女性が106で、回答しない、もしくは回答が確認取れないというものが4通、それから回答不明というのがあるのですが、どの項目に回答したのか分からない。極端な例を言うと、ここでいけば問1に対して男性、女性、回答しないという回答項目3つを設けていたのですが、全ての項目に丸をつけてきてしまっているというような状況で、どれに回答したか分からないというようなものもありました。それを回答不明という形で集計しております。これで今申し上げましたように回答のあったもので、回答が分からないものも含めて187というようなものになっています。抽出した対象者の内訳及び男女の比率ということで、参考までに男性については抽出した対象者が259名、このうち回答があった76名でありますので、回収率としては男性は52%、女性につきましては対象者として抽出したのが合計で241名、それに対しまして回収させていただいた、回答のあった方々は106名でありますので、回収率としては48%ということであります。失礼しました。回収率ではないですね。比率としては、男性が52、女性が48で、合計100になるような形でありました。これに対しまして男女の回収率ということで、その下段のとおり男性については29%の回収率、回答率です。女性は44%、全体で37%の回収率という形になってございます。

続きまして、問2、あなたの年齢を教えてくださいということでありますが、それぞれ①の20歳未満から始まりまして、設問中⑧が80歳以上というような形で、回答についてはこの8つの項目に対してそれぞれどこに該当するかということで丸印を付していただいで回答するような形にしてございました。これに対しまして、それぞれの回答のあった結果というのをこの一覧にまとめてございます。それぞれ20歳未満が、20代、30代ということで順繰りにいきますが、20歳未満が1名、20歳代が2名、30歳代が15

名、40歳代が24名、50歳代が34名、60歳代が55名、70歳代が44名、80歳以上が10名、それから回答不明、これも先ほどと同じようにいろいろな項目、1から8までの項目を丸印を付して年代をお答えくださいというふうにしていたのですが、全ての項目に丸印をつけるなど、どの項目に回答したのか分からないというものがありました。これを回答不明とさせていただきます。また、1から8までに丸印を付してくださいとしつつも何ら回答のなかったもの、年齢についてお答えいただけなかったものが1名あったということでもあります。抽出した対象者の内訳でございますが、20歳未満が7名、20代が24名というようなことで、以下、48、87、112、116、88、18で合計500名となるような年代抽出、年代別の抽出をさせていただきます。抽出した対象者の年代別の回収率については、参考までに付しておりますが、20歳未満が14%、20歳代が1%というような形で、以降、31%、28%、30%、47%、50%、56%というような形になってございます。この結果から、年齢が上に行くにつれて回収率、回答率の比率が上がっているというような傾向が御覧いただけるかと思えます。

続きまして、問3、あなたのお住まいの地域を教えてくださいということで、市街地区、これは中央、築別等の地区も含めて市街地区とさせていただきます。市街地区、天売地区、焼尻地区というような形で、それぞれ回答のあったものを集計してございます。このお住まいの地域を回答いただけなかったものも含めて集計した結果がこの問3のところにあるとおりでございます。市街地区が171、天売9、焼尻6で、無回答が1というような形でございました。抽出した対象者地域の内訳及び比率及び回答ということで、上段が抽出した地域別の人数ということで、市街地区は460人、天売22、焼尻が16ということでもあります。これに対しまして、回収率につきましては最下段です。3段目になります。市街地区が37、天売が41、焼尻が38%で、合計37%の回収率というような形になってございます。

あとは、問4としましては、ご職業を教えてくださいというような形でございます。こちらについては、自営業から始まりまして、会社員、公務員、学生、無職、そのほかというような形でございます。それで、これにつきましては、それぞれの回答結果をご確認いただければよろしいかと思えますので、詳しく説明は割愛させていただこうと思えます。

続きまして、問5、あなたの考えを教えてくださいということで、この問5以降が今回の改選後の議員定数の在り方に係るアンケート内容となっております。問5の(1)で、あなたの考えを教えてくださいということで、現在の議員定数(11人)をどのように考えていますかというような設問にしてありました。これに対しまして、187人の方々から回答をいただいた結果がその1枚目の一番最下段にあるような集計結果となっております。

ります。まず、11人を適当であるとお答えいただいたのが93、次に11人が多いよと回答いただいたのが76、次に11人は少ないよとお答えいただいたのが5人、その他ということで、適当、多い、少ない以外の回答をいただいた方が13という形であります。

回答をいただいた問5の(1)の集計結果につきましては、集計結果の右側のほうに円グラフとして比率を掲載させていただいておりますので、こちらのほうを御覧いただければと思いますが、適当であるが回答中おおむね50%、次に多いと回答、11人が多いよと回答をいただいたのが回答中40%、次に回答をいただいたうち、少ないよという比率は7%というような形でありました。結果から申し上げますと、回答いただいた結果は、集計結果は適当というのが一番多い回答という形になってございます。

次に、2枚目であります。問5の(2)といたしまして、(1)で多いまたは少ないを選んだ方にお尋ねします。望ましい議員の定数は何人ですかということで、ここで具体的に数字を問うております。そのうち、回答のあったもののうち具体的な数字が記載されていた回答といたしまして、10人が17人、10人が適当ではないかと、望ましい議員定数ではないのかというふうに回答いただいたのが17名でありました。すみません。これは、多いよと回答されたうちの方々が望ましい議員として、もし何人がいいですかというふうに考えていますかというようなものに対してのご回答の内容となっております。こちらが10人とお答えいただいたのが17名、9人とお答えいただいたのが22名、8人が18名、7人が8名、6人が2人、5人が3人、4人とお答えいただいたのが1名、あと具体的な数字ではないですが、10人以下、9から11人、8から10人、6から7人というようなお答え方をされている方がそれぞれ1名ずつということと、あと人数については多いと言いながらも具体的な人数を明記されていなかった方が1名ということでありました。

次に、少ないと、現議員定数が少ないよというふうにお答えされた方のうち、何人が望ましいですかということで、具体的な数字が記載されたものがこの青く記している表のとおりであります。まず、12人という形でお答えいただいたのが1人、13人とお答えいただいたのが3人、15人とお答えいただいた方が1名という形でありました。

この2または3ということで、多いまたは少ないと選んでいただいた回答のうち、具体的な理由を付記していただいたものは次の主な内容ということで明記してございます。まず、なぜこの人数になったかというのを下の設問に書いておりますが、それ以外に④として自由表記のような形でありましたところの理由につきましては、その青い表で記載させていただいているところの下段に書いておりでございます。4の自由回答ということですが、欠員が長引くようであれば、定数削減もありではないかというようなことと多くの方が正直思い悩むとか、よく分からないとか、そういうような内

容のものであります。また、自由表記の中で議員定数について、あまり関心がないというようなお答えをいただいているものもありました。これについては全てではないので、主な回答ということで捉えていただければと思います。

それぞれ多いよ、少ないよとご回答をいただいた方々の具体的な人数をお答えいただいた比率というのを中段ぐらいに円グラフとして記載しておりますので、参考までにご確認いただければと思います。

先ほど少し触れましたが、問5の(2)ということで、それぞれ多い、少ないとしてお答えいただいた方で、なおかつ具体的な数字を挙げていただいた方々の主な理由ということで、まず多いよと、現定数11人が多いのではないのかということでお答えいただいた方のうち、具体的な数字を挙げていただいて、かつその理由を明記されている方々のお答えを次の(3)で記してございます。

まず、代表的なものでいきますと、人口が減少しているからとか、小平、苫前、初山別が8人なら羽幌も減らしてもよいと、そういうようなお答えがありました。また、具体的な人数としては1,000人に1人の割合がいいのではないのかということで、離島があるので、8人が適当ではないかというところでもあります。

それに対しまして、次、3枚目になりますが、少ないよというようなお答えをいただいて、かつ具体的な数字を挙げていただいている方々の中で、その理由としていただいている方のものがその青く記した表の中に記載しております。少ないとお答えいただいている方で、それがなぜ少ないのですかと、多くしたほうがいいのではないのかというふうなご意見の方々の理由ですが、できるだけ多くの声を反映させていただきたいと願うからですということで、現状11人より多くしたほうがいいよというような方の考えでございます。また、他町村と比較した際に、人口を考えると少ない気がするというようなこととお答えをいただいているようなものもございました。ということで、ここはそれぞれ自由表記ということですので、ご参考にしていただければと思っております。

続いて、この3枚目の、(4)、これは問5の(4)に当たりますが、現在の議員の月額報酬をどのように考えていますかというような設問であります。これに対する回答ということで、まず適当であるとお答えいただいた方が98人、次いで現状の月額報酬額が多いのではないのかということでお答えいただいたのが65人、逆に少ないのではないか、少な過ぎるのではないかとお答えいただいた方が9人、その他という形で10人、あと全く回答いただけなかった方が5人という形でありました。こちらにつきましても、多い、少ない、適当である等々の回答をいただいた比率につきましても、右側のほうに円グラフということで、その回答をいただいたうちの割合を表記しておりますので、ご確認いただければと思いますが、この回答をいただいたうちの参考までに現在の議員報酬の月

額を適当とお答えいただいている方が回答があった方々の中で52%、次いで現在の議員報酬が多いよと、多過ぎるよというふうにお答えいただいた方が回答あったうちの35%というような比率になってございます。

続きまして、中段ほど、中ほどのところでありますが、問5の(5)ということで議員の月額報酬月額を多いまたは少ないと選んだ方にお尋ねしますという設問です。こちらは、その多い、少ないと選んだ方で望ましい具体的な月額は何ですかということで、具体的な数字を記載して回答をいただくというような設問にしてございました。こちらにつきましては、多いよとお答えいただいた回答のうち具体的な数字を挙げていただいていたものが25万円から具体的な数字は一番下限が1万円までというような形でそれぞれ記載しております。

ちょっとここ、設問の設定上、月額報酬ということで、ここに具体的に月額20万円ということで分かるような記載をすべきということであったのかなというところで、ちょっと事務局としては反省しておりますが、資料といたしましては議長を含め、全議員の月額報酬を明記して資料として提示してございましたので、一番表頭にあります議長の月額報酬額だとかというものを見ながら、お答えいただいた方ももしかしたら中にはいたのかなということで、このような集計結果になっていたということでもあります。これは、あくまでも事務局としての推測でありますので、具体的になぜこの金額になったかというのは、ご回答いただいた方からはお声を聞く機会はないので、あくまでも推測ということでもありますけれども、そういう結果で20万よりも多い25万円がいいのではないかとかという回答につながってくるのではないかとというふうに推測しているところであります。

それらを踏まえまして、この集計結果については25万が2人、24万5,000円とお答えいただいた方が1人、以下、20万円、19万、18万5,000円、18万、17万、16万というようなことでの回答ですが、それぞれ10名、4名、1名というような形であります。また、これ以外に15万から18万もしくは10万から15万というようなお答えをいただいている方もいましたし、日給にするというようなお答えをいただいた方もいました。具体的な数値がなかったほか、あと具体的な数値が分からないので、クエスチョンという形で、はてなという形でご回答いただいた結果も4名ありましたということでもあります。

これに対しまして、現在の月額報酬が少ないのではないのかと、もっと多くしたらどうかというふうにお答えいただいた方のうち、具体的な金額を載せて回答をいただいた結果が次の青い表になります。最高額が500万円、次が30万、28万、27万5,000円、25万円、22万、それから25万から30万ぐらいがいいのではないのかというふうにお答

えいただいたということで、それぞれ1、3、1、1、1、1というような形での集計結果でありました。こちらにつきましても、お答えいただいた方のうち、具体的な数字等を明示していただいたものの比率、集計結果ということでその下段、それぞれ円グラフで表記しておりますので、こちらについてもその割合について、参考という形でご確認していただければと思います。

続いて、4枚目になります。問5の(6)ということで、5で回答をいただいた方にお尋ねしますということで、それぞれ多いのではないのか、少ないのではないのかということで回答をいただいた方にその理由を尋ねる項目になってございます。こちらにつきまして回答をいただいた中で主なものを明記しているということで、全てではないということでご理解いただければと思います。

まず、多いのではないのかというふうに回答をいただいている方々のその理由、金額が望ましいというふうに考えた理由についてですが、どんな仕事をしているか、よく分からないという理由から、そのぐらいの金額が妥当ではないかというところでありました。あと、ほかに仕事を持ちながらやっているの、金額的には少なくてもいいのではないのかということであったりとか、期末手当をなしにして月額20万ぐらいでいいのではないのかというようなことを言っている方もいらっしゃいます。

あと、先ほど具体的な数字を挙げてきているところで非常に特殊な回答をいただいている方の中で、議員の方は町民のためという高い志を持っていると思うので、報酬ありきではないと考えるということで、北海道の最低賃金を基準に、それで1日8時間労働で5日働いたということでの換算結果から14万2,240円というようなことで積算している方もいらっしゃいました。あと、それぞれが思っているところが自由表記ということでありますので、それぞれ参考にしていただければと思います。

また、その下段に青く記しているところ、現在の議員報酬額が逆に少ないのではないのか、もっと多くすべきではないのかというふうにお答えいただいている方々の理由であります。少なくともいろいろ引かれて20万以上になると余裕を持って暮らせない。手取りで20から25万を想定、ゆとりがないと人のことなど考えられないというような理由を述べられている方もいらっしゃいました。あと、現在の議員数は管内の状況を見ても決して多いとは思いませんが、議員数を減らして、その分報酬を上げてみてはどうでしょうか。議員の成り手不足の議員として、議員報酬が低いという点もあると思います。報酬額も上がって生活等の不安もなくなれば、もっと若い町民から意欲のある成り手が出てくるのではないのかと思っていますというような提言も含めての理由を付記していただいて回答をいただいている方もいらっしゃいました。あくまでも、これは回答をいただいた方々のそれぞれのお考えという形でありますので、これは全てを明記して

いないので、全部のご意見という形にはなりません、代表的なものということで捉えていただければと思います。

次に、(7)ということで、問5の(7)、あなたが議員に期待すること、また議決権以外で議員の職務として重要であると考えてることを3つお答えくださいということで、こちらについては1から6まで具体的な項目、その他ということで自由表記というような形で、全部で7項目を設定し、この7つの中から3つまで選んでくださいというような設問にしてございました。こちらについては、3つ未満または4つ以上の回答でありまして、そのまま集計しているので、187人の回答と全てが、数字が符合するという形にはなっていないことをあらかじめご理解いただければと思います。

こちらにつきましては、まず①として財政、福祉、教育など行政のチェックということが大切だよというふうにお答えいただいた結果が84、次に②といたしまして町に対する政策提言や政策提案という形でお答えいただいたのが75、次に町民の意見を吸い上げ、町政に反映させるが141、④といたしまして地域に足を運び、行政への苦情や要望等を聞く、またはその相談に応じるが85、次に議会や議員が何をしているか分かるような情報発信が75、議員の資質向上が63、その他という形になってございます。こちらにつきましても右側のほうにそれぞれの回答をいただいた集計結果を円グラフとして割合、比率を出して掲載しておりますので、参考にしていただければと思います。

最後、5枚目、6枚目ではありますが、こちらにつきましては問6ということで、本町議会に対してご意見等がありましたらお答えくださいということで、自由記述という形での設問であります。こちらにつきましては、記述のあった意見等ということで、回答をいただいた75人分、記載のあったここに対する意見をいただいた方75人いましたが、その75人の方々の意見はこちらのほうに全部掲載してございますので、後ほど参考にご確認いただければと思います。一部ご回答いただいている内容につきましては、誤字というのでしょうか、そういったものもあつたりとか、あと個人名が明記されているものにつきましては、個人名につきましては個人への誹謗中傷に当たるということで事務局のほうで判断させていただきましたので、そこについては個人名ではなく、黒丸で表記をさせていただいているというようなところもございまして、おおむねご回答をいただいた、自由表記で記述いただいた内容をそのまま明記しているというような内容でございまして、今後の議会活動等に参考にしていただければということで全部載せているというような状況でございまして。

こちらにつきましては、今申し上げたとおりに75人の方々からご回答をいただいております。中には、非常に厳しいご意見等もあります。また、非常に建設的なご意見も中にはあつたかと思っておりますので、それぞれ各議員の方々がお感じになるところはそれぞ

れ違うかと思いますが、全議員については一応町民の方からいただいた貴重なご意見ということで全てを一応ご一読、75人分のご意見をご一読いただいた上で、こういう認識を持っている方々がいらっしゃるということでご記憶のほうにお止めいただければ思っております。

以上、雑駁ではありますが、私のほうから経過等も踏まえて集計結果ということでご説明をさせていただきました。

金木委員長

それでは、6ページにわたるアンケート結果の内容ということでまとまっています。まず、今のこのアンケートに関わって質問や不明なところ、ちょっと確認したいところ、またアンケート結果を見ての感想とかもあったら、その辺から発言をいただきたいと思っております。どうですか。

－主な協議内容等（質疑）－ 14:09～14:09

磯野委員 中には、極端な意見とかもありますけれども、こうやって見た感じ、おおむね皆さん結構真剣に考えたのではないかなというふうに見受けられます。今回のアンケートに関しては、よかったなというふうに感じております。

金木委員長 そのほか、ありますか。（なし。の声）

（2）町民アンケート調査票の集計結果の公表等について

金木委員長

そうしたら、特に質問とか感想は、その後も触れながら結構なので、まずこのアンケート結果について、公表についてということなのですが、もう間もなく議会だよりの編集作業に入っているところなので、次号の中で1ページ分のスペースを使ってこのアンケート結果の報告、結果についてというのか、報告というのか、そういうことでまず掲載していきたいなと思っておりますが、それについての確認、意見、あるいはもっとこういう方法で公開、公表すべきだというような意見があれば、お聞きしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

－主な協議内容等（質疑）－ 14:10～14:25

- 磯野委員 当然公開ということでページを取っているということで、お願いしたいと思います。あと、その方法については、それぞれお任せというか、細かく言ってしまうと切りがなくなっていくので、きちっと伝わるようにやっていただければと思っています。
- 阿部委員 公表については、議会だよりで公表する予定なのですけれども、以前やった町民アンケートは、たしか町のホームページ、議会の中に入ってからなのですけれども、そういったところでも公表していたので、回答者の年代とかでいうとちょっとあれですけれども、回答した人はやっぱりどういった内容だったのかなというのは気になる場所なので、もし可能であれば、またホームページの中で掲載してもいいのかなとは思いますが。
- 金木委員長 ホームページでも報告、公表なり検討していいのではないかと意見ですが、それについてはどうですか。
- 村田委員 可能であれば、別に公表しても構わない。
- 金木委員長 たしか2年前かな。12月頃だったのですよね。当然それも考えてはいたのですが、あのときは文章で提出されたものは選別しないで全部載せたのでしたっけね。あまり極端なものはあれだと思いののですが。
- 阿部委員 あまりにも極端なものとかというのは、ちょっと載せなかったかなと。たしか局長のほうにも見てもらいながら。
- 金木委員長 原則全て載せて、手をつけないものは載せるということで、可能ですか、局長、ホームページで。編集とかもあるのだろうけれども。
- 豊島事務局長 技術的には可能かと思えます。ただ、これはあくまでも議会向けに集計した結果でありますので、このまま全てという形にはなりづらいかというふうなところは思うところはありますので。なので、このまま全て、

この今日お示しした資料をそのままそっくり掲載という形ではなくなることはあろうかと思うのですけれども、繰り返しになりますが、技術的には可能かと思しますので、その辺につきましては事務局のほうでもそのホームページの掲載内容については再度検討させていただいた上で、公表についてできる範囲内でしてまいりたいと思います。

金木委員長　　そうしたら、そういう方向で、メインはというか、中心はやっぱり数字的のところだろうと思うのです。定数がどうなのか、多かったのか、少ないと答えた人がどうだったのか、その辺の数字的のところをきちっとやっぱり示していくということが中心になろうかと思しますので、そうしたらその作業も進めていきたいと思ひます。
ほかにありますか。

工藤委員　　遅れたのだけれども、このアンケートはたしか今後の定数をどうするかというために、我々が参考としたいということでやったアンケートだと私は理解しているのです。これは、あまり町民全体に広げるといふか、結果はこうだったよといふのは、私はしなくてもいいと思ひのです。これを参考にして私たちが議員定数をどうするかのことを決めていけば、それでいいのだと思ひのですけれども、どうでしょうか。

船本委員　　今、工藤委員が言ったのはよく理解ができるのだけれども、せつかく何年に1回はこういうアンケート調査をやっているのだから、議員定数だとか報酬だけでなく、確かに議員定数の関係から始まったと思ひのだけれども、やはりここまでやった以上は、今日は報道関係の方も来ていますし、報道もされるわけですから、できる範囲で広報のほうで検討していただいて町民に知らせるといふほうが私はいいいのではないかなといふように感じます。

小寺委員　　先ほど皆さんが言ったとおり、まず前提は公表するためのアンケートではないといふのはもちろん皆さん知っていて、アンケートにも事前にそれを載せますといふことではないといふ記載になっていたと思ひのです。それはそうと、せつかくいただいた意見なので、自分は可能な限り掲載して、議会だよりはあくまでも1ページしかないのだから、もちろん協力し

ていただいた、回答してくれた方は特に気になっている、その結果どうなったかというのはやっぱり、自分以外の人はどう思っているのか、それに対して議会はどうなったのかというのが関心が多いところだと思います。記載に関しても自分はかなり、議会にはちょっときつい記載もたくさんあるのですけれども、それも可能な限り、戒めではないですけれども、そう思った方がいらっしゃるということで、自分はなるべく可能な限りは載せるべきだというふうには思っています。議会広報は広報でまとめたものを記載しますし、あとはまたQRとかで飛ばして、詳しい内容はホームページに飛んでくださいというリンクのやり方もあるのではないかなというふうには自分は思います。

逢坂副委員長 このアンケートを取ったときのお願いの文書があるのですけれども、確かに議会だより等で公表すると、させていただくという予定ですということだったので、工藤委員の言うその目的としては参考資料ということで、議員定数のほか、いろいろなことについての今回のアンケート調査だと思うのですけれども、その下にも書いてあるのだけれども、本目的以外には使用いたしませんとか、できる限りあまり広めるような内容のお願い文章ではないのですよね、実を言うと。ですから、議会だより程度にして、あまり内容が分かるようなものでなくて1枚程度、議会だよりは1枚程度ですので、その程度で文言を入れるとか、例えば言われた意見を入れるとかということは、私はしないほうがいいと思うので、統計的に集まった分の数字程度、こういう数字というか、その程度でいいかなと自分なりに思いますけれども。

村田委員 いろんな意見あると思うのですけれども、自分としてはやっぱり議会だよりにその1ページを使うということで、全ては載せられないので、数的な部分、先ほど小寺委員が言ったように、そういうところから詳しく知りたい人はやっぱりQRコードなりを使って町のホームページ、議会のほうのそこに行けるような形をして、興味のある方はそれもきちんとやっぱり見てもらったほうが、こういう結果ですということが、来て回答しなかった人も、それからここに抽出されなかった人も興味ある人はいると思うので、できる範囲で公表できるものは私は公表したほうがいいのではないかなと思います。

平山委員 私も公表して差し支えないと思います。やはり後ろのほうにかなり厳しいご批判といたしますか、ご意見をいただいております。私もちょっとどきっとするところ、何箇所かあるのですけれども、やはり町民がこういうことを思っているよということを町民の方たちにも知らしめると言ったらちょっと変な言葉かもしれないけれども、こういうふうにいる人たちもいますよというような感じのもので私は公表してもいいのかなと思っています。その公表の仕方は、どういうふうにしたらいいかというのはちょっと分からないですけれども、一応公表には私は賛成です。

逢坂副委員長 では、私は反論するわけではないけれども、意見を公表するとなると、これだけの意見をそうしたら誰がどういうふうを選んで、どの部分の意見を公表するのか、私は大変だと思うのです。自分の意見が載っていない、違う意見が載っているなど、そういうことを言った人は、自分の意見は載っていないだろうと、はっきり言うと、変な言葉を使うと。だから、この部分はやっぱり私は避けるべきだと思うのです。載った人は、自分のやつ載っているけれども、自分も書いたのだけれども、載っていないなど。せっかく書いてやったのに、何で載っていないのだと、私はそういうふうになるのではないかと思うのです。私は、その部分はよく考えて、皆さんはどう思うか分かりませんが、私はやめたほうがいいと思います。

阿部委員 広報の1ページしか使えないということで、確かに全文を載せるのは難しいのかもしれないですけれども、今まで意見交換会だとか、町民アンケートをやったときも一部抜粋という形でやってきていますので、そういった形でもしできるなら、そういった形でやるしかないのかなと思うのと、やはり全文を見たい方も当然いるでしょうから、そういったときの活用のために先ほど言ったQRコードであったりホームページの活用というのがいいのかなとは思っています。

磯野委員 私も皆さんがアンケートをくれたら、やはり全文を載せるということは、これを見た瞬間に自分のだなど、それはちょっとまずいのだと思っています。ただ、賛成意見としてはこういう意見、反対としてはこういう意

見ということで要約すればいいのではないかなとは思いますが。

森 委員 もう結論は出ていると思うのです。多数決をする場面というふうに委員長はセレクトしていないですけれども、結論も出たし、表現方法についても圧倒的にある程度意見を集約ということであれば方向は出たかなと思うのです。それはそれで、皆さんの意見どおり広報と連携しながらやっていただければなと思います。ただ、これが公表になったときにやはり自分は、参加できなかった町民のほうが圧倒的に多いわけで、もともと人数を決めるときの予算の関係と統計としてというかな。成立する部分をかかなり大幅に超えるということでしたけれども、かといって実際の百八十数人というのは一定の部分ですので、やっぱり町民からもいろんな意見が出てきて、そもそも広報委員会のほうで、全然今は実際の報告は受けていませんけれども、目安箱でしたっけ。それを受けて置いているわけで、これを受けた中で、これに参加できなかった、決してそれを多数決に足すわけではないですけれども、自分たちの意見も言ったりとか、そういうことの受け皿は最初から用意しているわけだから、議会に対して。そういう部分も広報の公表するところにまた加えて、そんなに数は集まるとはちょっと思わないけれども、やはりできるだけ羽幌町議会は町民の声を拾い上げるのだということを事実上やっぱり進めてもらいたいなと思いますので、ここでは広報委員会を開いているわけでもないので、結論を出せとか、また行革委員会のほうで結論を出せということではありませんけれども、1つの参考と意見として今後委員会のほうでも検討してもらえないかなと。要望を言っておきます。

金木委員長 それでは、公表については全文、一言一句全部ということではなくて、要約しながらということで、可能な限り拾っていく方向での公表ということで考えていきたいと思います。ということで、この結果（何事か呼ぶ者あり）そうしたら、ちょっと休憩取りますか。（何事か呼ぶ者あり）これから、結果を受けてどう進めていくかという話をちょっとするのですが、休憩取りますか。35分、再開とします。

（休憩 14:25～14:33）

金木委員長

それでは、全員そろいましたので、再開していきたいと思います。

2 改選後の議員定数について

金木委員長

取りあえず、2番の改選後の議員定数についてということになるのですが、これを受けて、ではどうしましょうかということになるのです。一応それぞれ今日のこの結果を見て、皆さんまたいろいろ考えるところもあろうかと思うのですけれども、特に今日この委員会で何か一本化しようということではないのですけれども、それぞれ出していたいて、今日で大体方向がまとまれば、それでいいわけですけれども、皆さんから意見も聞いていきたいと思います。発言のある方は、お願いいたします。

— 主な協議内容等（質疑） — 14:34～15:06

舟見委員 留萌管内の現状とか北海道の現状を見ていると、取り立てて羽幌町の議員の定数11人というのは別に多くもないというような認識で、私は削減する必要がないという考えです。

阿部委員 今回アンケートを取りまして、先ほど話あったように公表をするということで、やはり公表することによって、また町民からのアンケート以外の声とかというのも出てくると思いますので、まずはこの場で決めるということではなくて、そういった後でもいいのかなとは正直思います。考え方、個人的な議員定数については、今までも言っていましたように、もうそろそろ削減したほうがいいのかなどは思いますけれども、まずは公表した中で、このアンケート結果を公表した中でまた聞こえてくる声を聞きながら、そのときに最終的に決めたほうがいいのかなどは思います。

磯野委員 いつも言っているとおりで、やはり議会というのはいろんな人たちが、いろんな各界、各所のいろんな人たちが集まって意見を言うことこそ議会の活性化につながると思っていますので、できれば多いほうがいいのかはと思っています。ただし、その町、町のいろんな事情もあるだろうし、

羽幌を見たときに今までの選挙を見て、例えば選挙がないだとかということで、過去に1回ありましたけれども、ここしばらくはずっと選挙も続いていますので、私は減らすこともないかなというふうに思っています。

それと、もう一つ、やはりその町の財政状況が逼迫していて、議会費にも手をつけなければならないという状況でもないということ考えたときに、私は多くということにはならないのでしょうかけれども、現状でいいのではないかなというふうに考えます。

以上です。

平山委員 増やすかどうか、この結果をここで聞いているの。

金木委員長 それも含めて、どうでしょうかねということで。

平山委員 今日は、その……

金木委員長 まだ決められないという人も当然いるでしょうし。この結果を受けて、皆さん現時点ではどうでしょうかと。

平山委員 決められたら、これのアンケートの結果を見たら、決して多いという結果ではないですよ。今の現定数でいいのではないかという集約結果だと思うのだ。だから、こういうのも見たら、私はちょっとここでは結論が出ない。さっき阿部委員が言ったように公表して、その中でまた町民の方々からこういう結果が出ていた、議会はどうしているのだというような声もまた聞こえてくるかもしれないと思うのだ。もうちょっと詰まってもいいのかなという気がします。

工藤委員 現在は11人で議員活動をやっていますけれども、私はこの11人でやっていくべきだと思います。まだもっといろんな意見を町民から吸い上げた意見を多くの議員が発言することによって、少しでも行政の方向というか、そういうものが町民にとっていい方向に行くように意見をどんどん述べるべきだと思いますし、また減らしてしまえば、やはり1人の意見が届かなくなるということになりますから、特別に多いわけではない

ので、この人数で私はやっていくべきだと思います。

逢坂副委員長 まず、私は現状のまま 11 名体制でいいということで、その前提に基づいて若干お話をしたいと思います。まず、人口が減ったと言いますけれども、平成 23 年からは約 1,700 人程度なのです。どこも減って、どの地区も、北海道全体で増えているところといたら札幌だとか、特殊なところ以外は増えていないのです。ほぼほぼみんな減少しているのは、これは仕方ないという部分もあって。かといって、それに右倣えして議員数を減らしていくかという、私はならないと思うのです。そうすると、20 年後、30 年後、人口が減ったときに、では議員定数を減らしていくのかという、極端な話ですよ。そういう結論づけにもなってしまうので、今のところはまだ六千何人いるということは、管内で留萌市に次いで 2 番目に多い町でもありますし、羽幌町というのは離島、特殊な事情も抱えております。そういうことを考え、あるいは 1 次産業であれば農業、漁業関係の、消防もそうなのですが、本署が羽幌町に今集約されています。そういうことを考えると、やはり羽幌町は留萌管内においても中心地であるということを考えると、現状のままでやはり何ら多くないと私は思いますので、今ここを減らしてしまうと、先ほど誰かが言っていましたけれども、また増やすということはまず 100% あり得ませんので、今はまだ今回はこの 11 名体制でやっていくべきだというふうに思っています。

以上です。

船本委員 この場で定数を何人にするだとか、しないだとかという場ではなく、今後町民の意見も聞きながら、まだ町民の意見も聞く場があるようなので、その意見もあるし、さらに今回のアンケート調査についてもやっぱり貴重な意見として我々はこれをしっかりと頭に入れて、最後にどうするかは本人たちが責任を持って話ししないとならないと思うのです。そして、ここで単純に見ただけで多い、少ないというのは両方あるわけですから、多い、少ない、さらに現状維持、この 3 つを含めての検討なわけですから、もうちょっと時間を置いて、そういう意見も聞きながら、そういう場で多い、少ない、現状がいいということをお話ししたいと私は思っていますので、今日はその件については避けさせていただきます。

小寺委員

自分は、アンケートの結果を見て、やっぱり今回のアンケートの結果だけを見ると、やっぱり定数とか報酬については、あまり関心がないというか、そこを重きを置いていなくて、議会とか議員の活動が、議会の中の質疑とか議決に責任があるというのが十分に町民に見えていない感じがして反省しているところです。それで、羽幌町議会自体の動きが分からないので、アンケートに資料を載せたほかの議会とか自治体、人口、議員数等で、資料はあるのですけれども、なかなか比較ができて、アンケート結果に反映されていなかったのではないかなというふうには自分は思います。ただ、議会とか議員に対しての結構意見、厳しい意見は多くて、正直自分もびっくりしていますし、自分自身も何か自信を失うぐらい、今まで何をやってきたのだろうというふうにちょっと考えさせられるものが多くありました。議会の定数とかよりも今は今回は定数の話をしなければいけないのですけれども、やっぱり議会としての機能充実というのを町民が求めている、それが羽幌町議会で今後できるのか、そういうところが見られているのではないかなと。だから、今のまま 11人の体制でそのまま行くというチョイスだと、もうそれもありませんし、それより町民が求めているのはやっぱり資質の向上だったり議会機能の充実というところが定数とどう結びつけて判断、自分自身しなければいけないことなのかなというふうにすごく自問自答しているのが今の状況です。

それで、先ほど阿部委員もおっしゃったのですけれども、アンケートを町民に公表するということによって、また新たなアンケートに答えていない方の意見が各議員に行くと思うのです。それをまた持ち寄って、アンケートをどうのこうのするという事ではないのですけれども、また機会を見つけて、今後羽幌町議会として定数も含めて検討は必要かなというふうに思うので、先ほど何人かおっしゃったように今すぐこれを見て、アンケートの数字だけを見て今すぐ判断しなさいというのは、ちょっと今の現状では私はちょっと難しいので、もう少し時間をいただきたいなというふうに思っています。

金木委員長

ありがとうございます。ほかにどうですか。では、大体出たかなと思うのですが、ざっと聞いたところ、現状維持という方も3名ぐらいおられ

ました。減らしてもいいのではないかという人も1人、まだ現時点ではどちらとも決められないと、もうちょっと時間を置いて再検討してみたいという方も何人かな。4人ぐらいかな。いたと思います。ということで、今回はこの件についての議論はこの程度にとどめまして、また日程をちょっと考えながら引き続き検討していきたいということでまとめていきたいと思いますが、今日のところはよろしいでしょうか。(はい。の声) それで、日程的なこともあるので、当然定数を変えるということになれば条例改正が伴うことにもなりますので、それを前から言っていたと思うのですけれども、12月定例会を1つの、変えるのであれば12月定例会までに間に合うようにということで考えています。となると、11月……

阿部委員 議会だよりが10月27日に発行なのです。公表されるとしたら、それ以降なので、そこから12月末ですか。

金木委員長 11月中には結論をつくっていくという構えで、局長、よろしいですか。(何事か呼ぶ者あり) 12月定例会の前の日というわけにもいかないのです、11月中、真ん中過ぎか、下旬かということに……

平山委員 12月の議会でないと、もし改正するとなったら、12月定例会でなければ駄目なの。

森委員 いや、前回も3月だったか、前々回。話を決めておいて、周知しておいて、議決は3月(何事か呼ぶ者あり)

金木委員長 暫時休憩します。

(休憩 14:47～14:54)

金木委員長 では、会議に戻しますが、次回の会議については時期を見まして適切な時期に開催をしていきたいということで閉めたいと思います。一応議題については以上、これで終了したいと思います。
あと、私のほうからその他ということになりますが、例年次年度の予算

要求時期ということになりまして、議会・行革では毎年タブレットの予算要求を続けてきています。次年度に向けてもかなり可能性は薄いという見通しはありますけれども、昨年同様予算要求を出していきたいなというふうに私、委員長個人としては考えております。大体中身や金額等は去年のものを参考にしながら考えていきたいと思いますが、これについてどうですか。時期を改めてちゃんと議題としてみんなで議論すべきだということが声があれば、また考えますけれども、どうでしょうか。

平山委員 これずっと毎年と言ったらおかしいですけれども、継続して予算を上げていっているの、改めて集まってまた決めるのではなくて、私はもうこのまま次年度というか、向けて私は予算を上げていってほしいと思います。

小寺委員 自分は、ここ数年上げて全く手応えもないし、町側の説明も十分ではないし、諦めるとかではなくて、ちょっとやり方とかを考えないと、ただ上げて駄目でしたと。議会としてもどうなのかなと個人的には思うのです。だから、本当に本気で出すのであれば、本気で議会として対応しないといけないし、何年も出しているから駄目でもいいやというのだったら出す必要はないし、町長も議会とうまく協議してと言ってはいるものの、必要ないというのが前提であるので、何かその辺もっと理由づけをするのか考えないと、基本は今の段階、自分が認識している段階では出す。それこそほかの事業でもやらないとかこの時期に言ってしまっているの、そうなるのとちょっとやり方考えないと、せっかく上げててもそれこそ実現しないですし、アンケートにももっとやっぱり議会としてというのはいっぱいあったと思うのですけれども、かなと自分はちょっと疑問ではないですけれども、現実味があるというふうにちょっとやり方を考えたほうがいいのではないかなというふうには思います。

磯野委員 やり方云々というのはあれなのですけれども、やはり出さないということにはならないのだろうと思うのです。これまでやってきて、みんなの意見はやはりやるべきだということですからずっと出してきたので、これが出さなかったら、ああ、それで後はもういいのだなという話になってしまうので、出てこないものは予算はつけないわけだから。確かに何回出し

でも同じ回答ではあるけれども、必要なものはやはりきちっとそれなりの理屈をつけて、これこれこれで、しかるべき必要なのだからということを出してきたので、当然出すべきだと思います。ただ、小寺委員の言うように、では同じ方法でやるのかとなると、でもほかにいい方法が、予算案ですから、やはりきちっとそれなりのものはみんなで論議して、これこれ必要で、これこれのためと決めたのだから、それで当然出すべきでないかなと思います。ただし、例えば予算的に全然金額が変わってくるのであれば、これはまた考えないと、別な話ですけれども、と思います。

船本委員 磯野委員、今小寺委員も話したとおりで、今まで内容もきちっと説明はしてきているのだけれども、なかなか向こうでは理解しているような話も聞こえてはきていたのだけれども、実際には予算がついていないと。この予算要求のときには、予算説明は局長だけ行っているのですか。

森委員 そこに話が戻るのか。何回も、パターンは似ているのですけれども、いろんなことをやっていて、予算要求も……

船本委員 ちょっと私の意見だけ先に言わせて。

森委員 意見があるなら。局長のほうに振ったから、その説明……

船本委員 だから、それを聞いているの。どういうやり方ということ、小寺委員も方法を考えなければまずいのではないだろうか。ただ出すだけではなく、ただ出すというわけではないと思うのだけれども、今まで局長だけでやったのかなということをちょっと局長に聞いたのですが、それも言えないのならいいのだけれども。

豊島事務局長 予算要求につきましては、事務的な流れを経て年明け……

船本委員 予算説明、各課、課でいえば、各課……

豊島事務局長 年明けから順次理事者のほうへのヒアリングが開始されますので、その

際に事務局という形で私と係長、嶋元と2人でそのヒアリングに臨みまして説明をさせていただいているというところでもあります。

船本委員 それで、私が思うのはやっぱりただ出しているだけ、出さないともう要らないのかとなれば困るので、やっぱり出さなければならぬので、それにはやっぱり今までただ出すだけでなく、何か方法を考えるとなれば、今まで事務方だけでやったのだけれども、予算要求についてはその場でなくてもいいから、別な場で要望していくと、議員が何人か入って要望していくような形で。

豊島事務局長 それにつきましては、昨年もそうでしたけれども、正確な日時はちょっと忘れましたが、議会として臨時費の中にそういう動きをさせていただくということで、議会の総意としてそういう決定をしたということで、その際は議長、副議長、それから担当のそれぞれ所管する常任委員長なり特別委員長と一緒に町のほうにアポを取りまして、事前にこういう形でやらせていただくので、また要求させていただくので、ご理解願いたいということで、議会としてはそのような対応をさせていただいた後にヒアリングをしているということでもありますので、何もしていないということではないです。

船本委員 ぜひ今後もそんな、そういうやり方しかないと思うので、ぜひそういうやり方で、議長も大変だなと思うけれども、議長が中心になって、ぜひこれも全員の総意で要望しているわけだから、そこら辺も1つ訴えて、また同じことなのだけれども、ぜひやってほしいなと思います。

森委員 参考に、2回行ったこともあるし、年明けてから行ったこともあるのです。私がやめていたときも行ってみたい。だから、一回も行かなかったことはないのです、提案の後の説明には。同時に、議員の総意だということも、全員協議会を開いてやっているわけだから、その場でもう文章化して、きちんと文章化してお渡ししたことももちろん当然あります。それを持ってきて、局長のところにはぼんと投げて帰っていったということも実際には起きた。要望書、いつ会うとか、会わないとかということも含めて、そういうこともあったのです。それは納得いかないとい

うことで、また行って、また局長を通しての部分が多かったと思うけれども、全員協議会でみんなのあれですよと、ここに書いてあるメンツだけではないですよとかいうようなことを繰り返したら、知っていたはずなのだけれども、自分はそれは分からなかったからとまた2回目をやったりとかということはやっています、常に。ただ、要求しっぱなしで、結論だけを局長が聞いて終わりということではないということだけは理解してもらいたいと思います。

議長としてというよりは、情報提供みたいな形なのだけれども、最近続けてこんな話によそでなあってというのは、例えばIT化みたいなことに対して、よく行政は非常に鈍いという前提なのだけれども、議会もやっぱりそういうものに対してきちっと勉強して、そういうふうにしていかないと、この地域はどんどん遅れていくというような話がたまたまあって、その際に実はタブレットとか、そういうものを要求していて、そしてインターネット中継、そういうものを要求している中で、なかなか理解を得られなくてと。そこのハードの部分のタブレットだとか、取っかかりとしてのインターネット中継みたいようなことなのだけれども、そういうものを整備していく中でIT化とかICT化とか、いろんなものが今後考えられるので、そういうことを幅広く考えながら議会も要求しているのですと言ったら、全く知らないよと言うのだよね、要求していることを。だから、議会議員の中では、それは知らないわ、考えてみたらと思ったのです。私たちは予算要求を出して、それが結果としてつきませんでしたということで、議論は予算委員会とか、それで多少はあったかもしれないけれども、それを大々的に要求しているというようなことがなかなか伝わっていなかったのだなと思っているのです。広報のほうでは、結果論としてのあれは載せていることはあるような気がするのだけれども、要求しますとか、こういう理由で要求しますとかというようにしたことというのはありましたかね。

阿部委員 たしか今年の3月の議会だよりの中では、議会から予算要求して、つかなかったものみたいな感じで載せたことはありました。インターネット中継とタブレットとか。

森委員 箇条書きの中の1つ……

阿部委員　　そうです。あとは、その委員会の中でのやり取りとか、特別委員会でのやり取りでインターネット中継の必要性であったり、タブレットの必要性というものは載せてはいますけれども。

森委員　　11月には無理、結論も今これで出た、今回はそういうときに出ているとしたら、例えば11月のスペースの中でこういうものを何年間やって、また要求しますみたいな見出しだけでもできるような可能性ってあるのか。結論が出てからでもいいのだけれども、広報として。

小寺委員　　広報のやり方として、だから町民にというのは、やっぱり内々でやるのではなくて大っぴらに、例えば報道の方にも協力してもらって取材してもらうだとか、フォトクリップに載せてもらうとか、そういうようなのを含めていろんな手段を使いつつやるのも一つかなというのは思います。以上です。

金木委員長　　そうしたら、大体今年も予算要求をしていく方向で、可能な有効となり得る方法、手法なども検討しながら進めていきたいということで、いいですか。(はい。の声)では、よろしく申し上げます。
以上で今日の会議を終了いたします。ご苦労さまでした。